

地域農業の在り方等を踏まえた市町村支援計画等の概要

【地区の概要】

- 水稲、畑作、畜産が主体の中間農業地域
- 担い手の一層の経営発展と肥料・飼料価格等の高騰による生産経費の増加に対し、畜産堆肥の有効活用や、自給飼料の生産を強化する必要がある地区

【支援内容・背景】

- 担い手の経営の安定を図り、畜産堆肥の有効活用や自給飼料の生産などの取組支援が必要
- 助成対象者は地区内で大規模畜産経営を営む者であり、近年、飼養頭数を拡大。WCS（ホール・クローブ・サイレージ）の利用により粗飼料面積拡大に取り組んでおり、併せて経営の合理化も実践。地区における畜産大規模経営の経営力強化の取組モデルとして育成・支援する。



助成対象者「株式会社 笑顔咲く日々」の経営の状況と事業内容

【経営の経緯】

- 平成2年 就農開始
- 平成28年 経営改善計画の認定
- 令和3年 法人化
（株式会社 笑顔咲く日々設立）
- 令和3年 経営改善計画の認定

《事業活用の背景》

○飼養頭数の増加を図るためには、2か所ある牛舎で効率よく給餌作業を行い作業時間を短縮することが必要。給餌作業を効率よく行うための機械を導入。

【事業実施時の状況】
〈令和2年度〉

- 売上高 80百万円
- 肉用牛 260頭
- 経営面積 14.1 ha
- 個人

《事業による整備内容》

- ホイールローダー
（バールグラブ付き）1台
事業費 6,182千円
（国費 1,686千円）



【現在の経営状況】
〈R4年度〉

- 売上高 243百万円 **(303%)**
- 肉用牛 430頭 **(165%)**
- 経営面積 20.3ha **(144%)**
- 法人

事業の
効果

《対象者》 給餌作業の効率化による作業時間短縮で、生産性が向上し飼養頭数や売上高の増加を実現。
《地区》 担い手である畜産農家の経営安定により、畜産堆肥の有効利用など地区内の耕畜連携が図られ、担い手の経営安定が実現。